

令和2年度 自治会連合会と地域市民の集い（中央文化センター圏域）・議事録（敬称略）

1. 日 時 令和2年10月11日（日）午前10時～12時
2. 場 所 中央文化センター 講堂
3. 出席者 16名
4. 書 記 椋田實

5. 会議の概要 【司会進行：谷本事務局長】

(1) 会長挨拶 志水会長

(2) 府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、谷本、椋田、柴澤、川辺、植木、筒井、宮崎（8名）

中央文化センター圏域：守屋、甲坂、富田、阿部、山田、清田、土屋、田中（7団体：8名）

(3) 府中市自治会連合会・自治会についての説明（谷本）

自治会ハンドブックを使って自治連と自治会の活動を紹介した。

(4) 四部会の活動状況

・総合的な活動

新型コロナウイルスの市長への要望と回答を説明（資料配布）、回覧が必要なら会議後にお渡しする。

市長との懇談会は10月30日（金）に実施する。

災害では備蓄とは別に、停電時に停電ライトやスマホなどの機器に充電する設備が必要

・市民協働対策部（山上一代行：谷本）

自治会活動賠償責任保険（自治連・団体保険）の募集は終了したが、途中でも加入できる。

・生活安全対策部（植木）

視察研修は10月21日に防災機器展を見学する。参加者は46名、3密に配慮してバス3台。

・環境対策部（川辺）

コロナの影響で、視察研修は中止、3R大会も中止である。最近、高齢化が進み、空き家が増えて色々な問題が起きている。そこで、空き家対策の会議に川辺と谷本が出席している。

・福祉対策部（宮崎）

福祉に関する視察研修は中止とした。社会福祉協会の活動には参加している。

(5) 懇談会

①防災用の道具や物品を実物で紹介した（筒井・谷本）。

安否確認カード、密閉袋（BOS）、ローリングストック、カセットコンロ、炊飯などは普段の体験が必要、地震では転倒防止策が重要。

②自宅に避難する場合は何が必要か（情報取得と発信機器・水・食料・トイレ・他）、

③トランシーバーの所有数調査を行い実態に合わせて、災害・最悪時の情報伝達網の構築を推進中。

④今年度、水害時の避難所は、対象別の避難所設置、早期設置、開所管理など改善している

⑤停電対策（停電ライト、蓄電池・ソーラーパネル）と住まいが被害を受けた時の対策（被害状況の撮影）

⑥カセットボンベの備蓄は分散保存（複数の役員）、ガソリンの備蓄には法的制約と劣化がある。

⑦マンションの防災は、マンション部会を開催しているので、ぜひ参加して貰いたい。

⑧中央文化センター圏域の町会・自治会の数は74団体（自治連未加盟数を含む）

(6) 閉会挨拶 志水会長

新型コロナウイルスの感染は衰えていません。自治会活動は感染防止に注意してください。

会 長		事務局長		総務部長	
-----	--	------	--	------	--